



connecting

KYOTO ART LOUNGE  
EXHIBITION

表裏のバイパス

connecting two sides

菊池和晃 | TŌBOE | 吉田桃子

2021.3.4<sup>Thu.</sup> — 3.14<sup>Sun</sup>

11:00–18:00 主催 | ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会  
入場料 | 無料

会場 藤井大丸 ブラックストレージ



two sides

KYOTO ART LOUNGE EXHIBITION

# 表裏のバイパス

菊池和晃 | TŌBOE | 吉田桃子

## connecting two sides

使われなくなった伏見の酒蔵、全長25mの西陣の元染織工場、工作機械が並ぶ現役の町工場、京都の街の様々な場所に作家のアトリエは存在します。作品と向き合う苦悩や理想の表現手法を求めて実験を重ねる日々、制作に励む日常は作品には見えてこない“裏側”と言えます。またその“裏側”は当然ながら作品である“表側”と切り離せない関係を持っています。展覧会『表裏のバイパス』では、京都にアトリエを構える3組4名の作家の表裏を映像と展覧会によって接続することを試みます。

プログラムディレクター: 矢津吉隆

### 2020年度京都アートラウンジ

#### アーティストプロモーション映像発信プログラムと展覧会の開催について

世界的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年。京都の若手作家と皆さまの交流の場として継続してきた「京都アートラウンジ」も、これまでのリアルイベント形式を再考することを余儀なくされました。そして、ウィズコロナの時代にこれまで以上に作家の魅力を掘り下げて発信するための方法として、プロモーション映像の制作、映像とトークのオンライン発信、総括的な展覧会の開催までを一連のプログラムとして実施することとしました。2020年夏、京都府に制作拠点のある作家を対象に参加者を公募し、菊池和晃、TŌBOE(西條茜×バロンタン・ガブリエ)、吉田桃子の3組4名の作家が選ばれました。いずれも、表現の豊かさや独創性によって人の心をつく作家であり、現代の京都で美術家として生きることと真摯に向かい合い、広い視野と深い思慮をもって未来を見つめている若き実践者たちです。今回公開する制作風景やインタビューの映像とこの展覧会が、彼/彼女らの作品をより理解するための貴重な手がかりとなるでしょう。



Draw the City  
2020 | アルミニウム、鉄、ステンレス、ハケ、ペンキ | 撮影: 今村裕司(むら写真事務所)

#### 菊池和晃

Kikuchi Kazuaki

1993年京都生まれ。成安造形大学美術領域現代アートコース卒業。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻構想設計クラス修了。機械工として働きつつ、京都を拠点に美術家として活動。仕事で使用する技法を用いて、肉体を酷使することで稼働する装置を制作し、またその装置を使い美術史から引用したイメージを生産する。主な展覧会に「ニューミュレーション#3 菊池和晃・黒川岳・柳瀬安里」京都芸術センター(2020)、「Kyoto Art for Tomorrow 2020-京都府新鋭選抜展-」京都文化博物館(2020、優秀賞受賞)、「超暴力展」山下ビル(2019)など。



Homunculus / Homunculus  
2020 | 陶磁器

#### TŌBOE

西條茜 × バロンタン・ガブリエ

Akane Saijo × Valentin Gabelier

陶磁器の特性である「中心が空洞」であることからもたらされる虚構性に焦点を当て制作を行ってきた西條茜と、自身の声や息を用いてパフォーマンスを行ってきたバロンタン・ガブリエからなるユニット。互いの素材である「陶磁器」と「息・声」を用いて陶製のサウンドオブジェクトを制作する。

西條茜 / 1989年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学大学院 美術研究科修士課程 工芸専攻陶磁器分野修了。  
バロンタン・ガブリエ / 1991年フランス・グラス生まれ。現在京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程構想設計領域在籍。



Just hearts, NE town #1  
2019 | アクリル絵具、ポリエステル布

#### 吉田桃子

Momoko Yoshida

1989年兵庫県生まれ、2016年京都市立芸術大学院修士過程修了。音楽を聴いているときの高揚感や頭に浮かぶ映像的イメージを絵画の形式に閉じ込め、観る人にその高揚感を共有させる装置とする作品制作を行っている。

主な受賞歴に「ART IN THE OFFICE 2019」、「a.a.t.m.2016」三菱地所賞受賞。これまでの個展に、「scene UKH ver.3.1」ART ZONE/京都(2017)、「scene UKH ver.3」三菱一号館美術館歴史資料室/東京(2017)、グループ展に「Kyoto Art for Tomorrow 2019-京都新鋭選抜展-」京都文化博物館(2019)、「京芸 transmit program 2018」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都(2018)などがある。



プロモーション映像は  
こちらからご覧いただけます。  
<https://kyotoartlounge.jp/>



会場  
藤井大丸 ブラックストレージ  
京都市下京区綾小路通御幸町西入足袋屋町318

お問い合わせ先  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会事務局  
(京都府文化芸術課) 075-414-4222